

「卒業生アンケート調査」結果報告

結果まとめ

この報告は、くらしき作陽大学及び作陽短期大学（以下、本学）の卒業生に実施したアンケート調査に基づくものである。

本学での学びのうち社会に出た後に活用できているものとして、「専門的知識・技能」、「コミュニケーション力」、「チームワーク、リーダーシップ」の回答が多い。また、「今後本学で教育される必要があるものは何か」という設問に対しても、「コミュニケーション力」、「専門的知識・技能」、「チームワーク、リーダーシップ」の回答が多く、これは社会で、より実践的な能力の必要性を実感していることが予測される。

「今後、本学でどのような分野の支援が必要か」という質問に対しては、「就職に役立つ知識や技能の教育」が最も高く、「サークル・部活動」は新型コロナウイルス感染症の影響から制限されていた活動が、今後再開していくことを踏まえての意見の可能性もあり、また、「キャリア教育（将来の生き方や進路を考える）」については、今後の授業等（キャリアライフデザイン、ワークライフデザイン等）でも取り組みを実施・充実していく予定である。

「再び本学で学ぶとしたら、どのような機会にしたいか」という質問に対しては、「資格取得などのための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会」という回答が最も多く、リカレント教育の要望が高まっている可能性が予測される。

「母校をどのように思っているか」の質問に対しては、「温かみがある」、「面倒見が良い」、「真面目な学生が多い」の回答が多い。

1. 調査の概要

- ・調査対象：2022年卒業生
- ・調査時期：2023年1～3月
- ・有効回答数：60件

2. 調査結果

(1) 大学での学びの有効性

「あなたの現在のお仕事等で、大学時代の学びで得た建学の精神に基づく人間力など以下の知識や能力が、どの程度活かされているかをお聞きします。次の13項目のそれぞれについて「とても活かされている」、「やや活かされている」、「あまり活かされていない」および「まったく活かされていない」の4段階のいずれかを選んで回答してください」という質問を行った。回答結果は図1、表1の通りである。

01. 建学の精神に基づく人間力（挨拶、掃除、合掌[感謝]を通しての豊かな人間性の涵養）
02. 基礎的知識（教養含む）・技能（一般的な教養を含め、基礎的な知識や技能）
03. 専門的知識・技能（所属学部・学科で得た専門的な知識や技能）
04. 論理的・批判的思考力（与えられた情報をうのみにせず多面的に検討した上で、論理的に分析することができる）
05. 数量的・統計的能力（自然や社会的なことからについて、数量や統計を利用して分析・理解することができる）
06. 情報リテラシー能力（多様な情報源から適切な情報を収集・分析し、ルールにのっとって活用することができる）
07. 問題解決力（問題を発見し、原因を分析した上で、解決策を立案・実行することができる）
08. チームワーク、リーダーシップ（他者に働きかけ、協力し合って行動することができる）

- 09. プレゼンテーション力（聞く人にわかりやすい資料作成やプレゼンテーションを行うことができる）
- 10. ディスカッション力（グループやチームで話し合う際、うまく意見交換できる）
- 11. コミュニケーション力（相手が何を考えているかを汲み取ることができる。自分の意見を十分に伝えることができる）
- 12. 文章作成力（読む人にわかりやすい文章で伝えることができる）
- 13. 語学力（英語またはその他の外国語を使いこなすことができる）

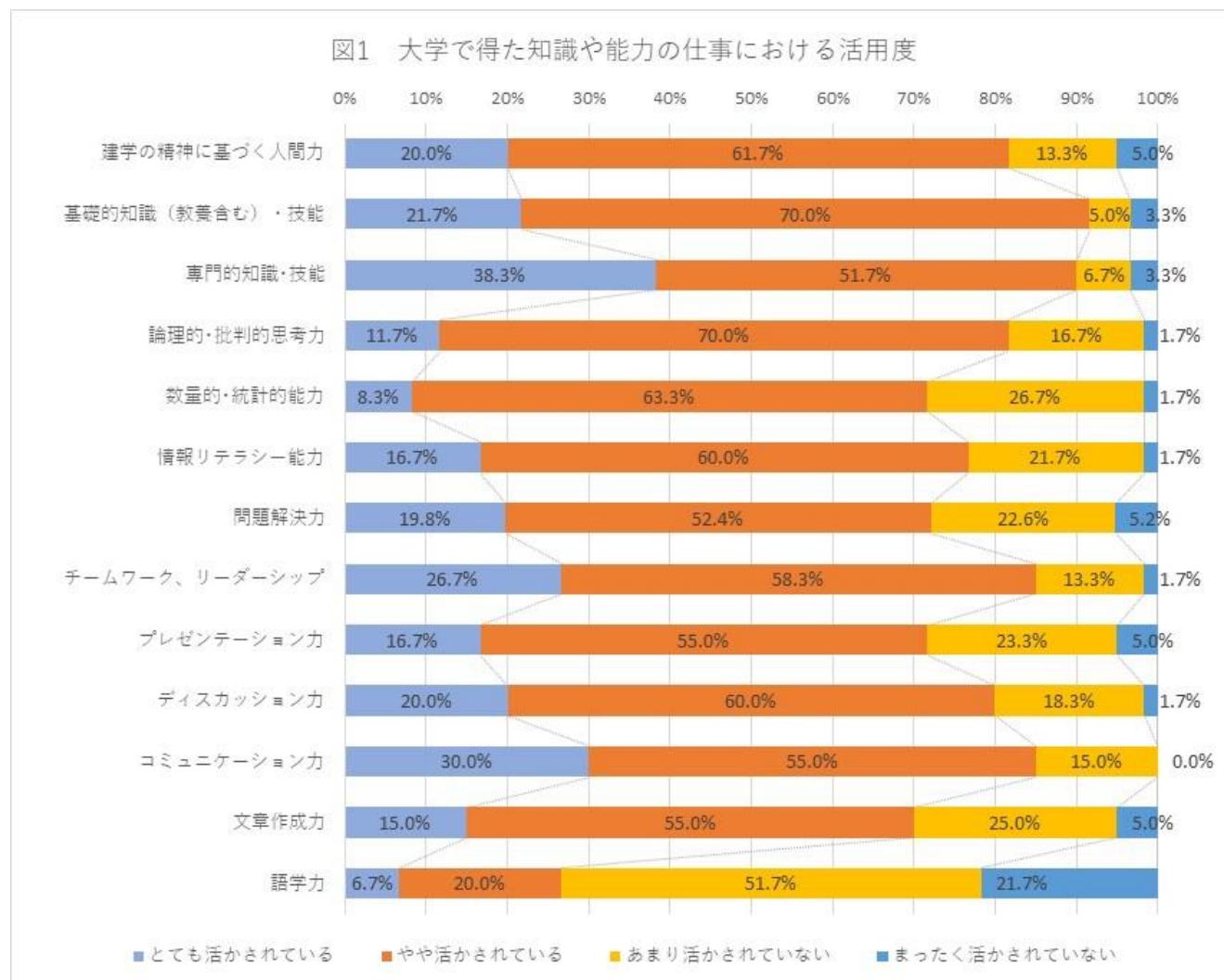


表1 「とても活かされている」回答率(上位3項目)

1	専門的知識・技能	38.3%
2	コミュニケーション力	30.0%
3	チームワーク、リーダーシップ	26.7%

(2) 今後本学で教育の必要があると思われる知識や能力

「今後本学の教育では、どのような知識や能力の育成が必要だと思いますか」という質問に対して、必要と思われる知識や能力を卒業生に3つまで回答してもらったところ、回答結果は図2、表2の通りである。

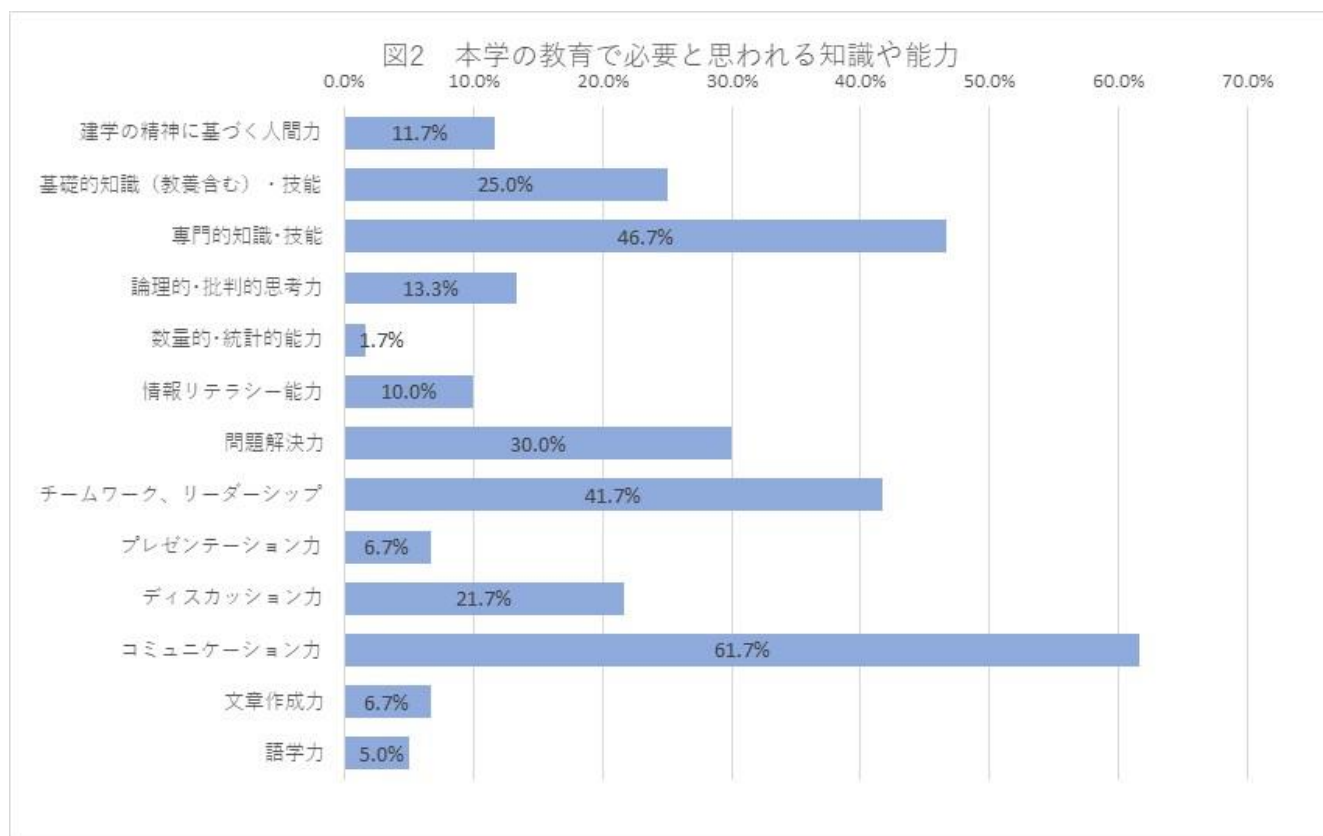


表2 選択率(上位3項目)

1	コミュニケーション力	61.7%
2	専門的知識・技能	46.7%
3	チームワーク、リーダーシップ	41.7%

(3) 今後本学で必要だと思われる支援分野

「図2の13項目以外で、今後本学で支援が必要だと思われるのはどの分野ですか」という質問に対する回答結果は（複数回答可）図3、表3の通りである。

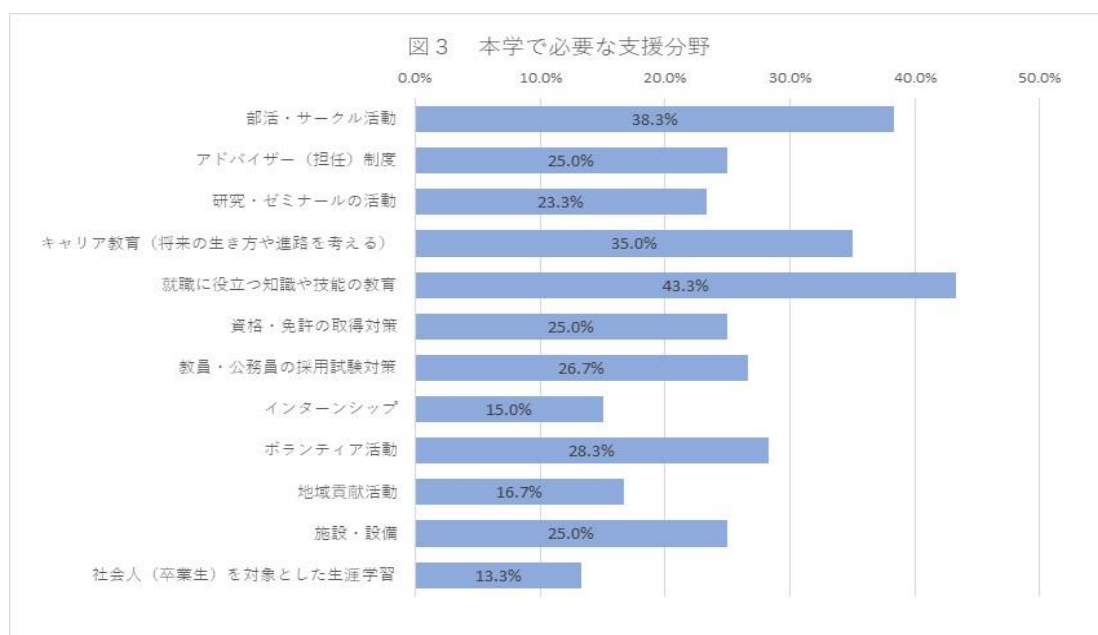


表3 選択率(上位3項目)

1	就職に役立つ知識や技能の教育	43.3%
2	部活・サークル活動	38.3%
3	キャリア教育(将来の生き方や進路を考える)	35.0%

(4) 本学で再び学べるとしたら、という仮定に基づく希望

「今後、本学で再び学ぶとしたら、どのような機会にしたいか」という質問に対して、「資格取得などのための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会」、「仕事・職業とは関係なく、広く教養を学ぶ機会」、「その他のことで学ぶ機会(自由記述)」、「特になし」の4つの選択肢を設け、一つだけ選んでもらったところ、回答結果は図4、表4の通りである。

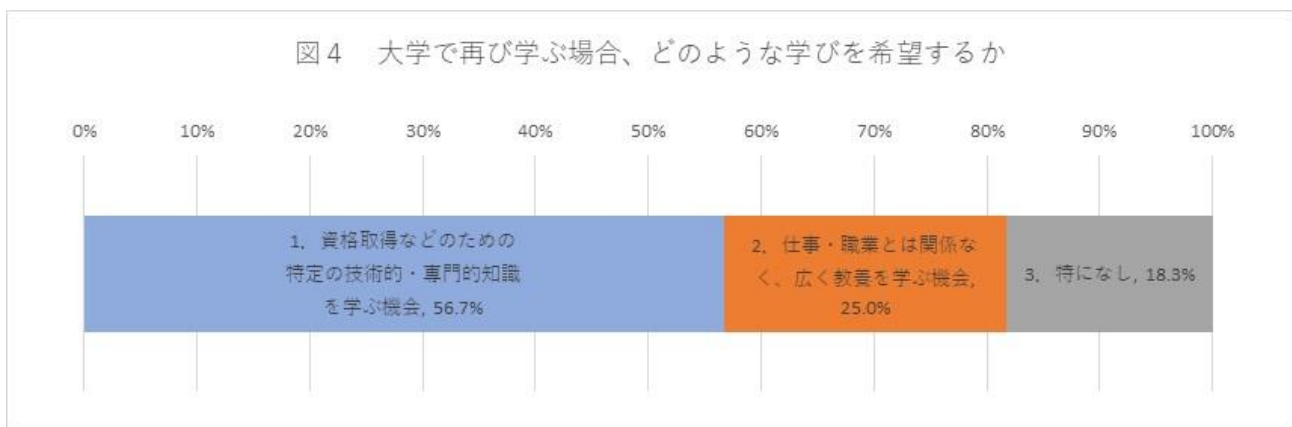


表4 選択率

1	資格取得などのための特定の技術的・専門的知識を学ぶ機会	56.7%
2	仕事・職業とは関係なく、広く教養を学ぶ機会	25.0%
3	特になし	18.3%

(5) 母校をどのように思っているか

「くらしき作陽大学または作陽短期大学(母校)をどのように思っていますか」という質問に対して、「真面目な学生が多い」、「活気がある」、「自由に学べる」、「落ち着いた雰囲気がある」、「社会的な評判が良い(活躍する先輩が多い)」、「教育研究水準が高い」、「面倒見が良い」、「個性を伸ばす教育をしている」、「社会で通用する人間を育てている」、「温かい雰囲気がある」、「施設・設備が充実している」、「先進的な取り組みをしている」、「その他(自由記述)」の13項目の中から複数回答してもらったところ、回答結果は図5、表5の通りである。

図5 作陽（母校）の印象

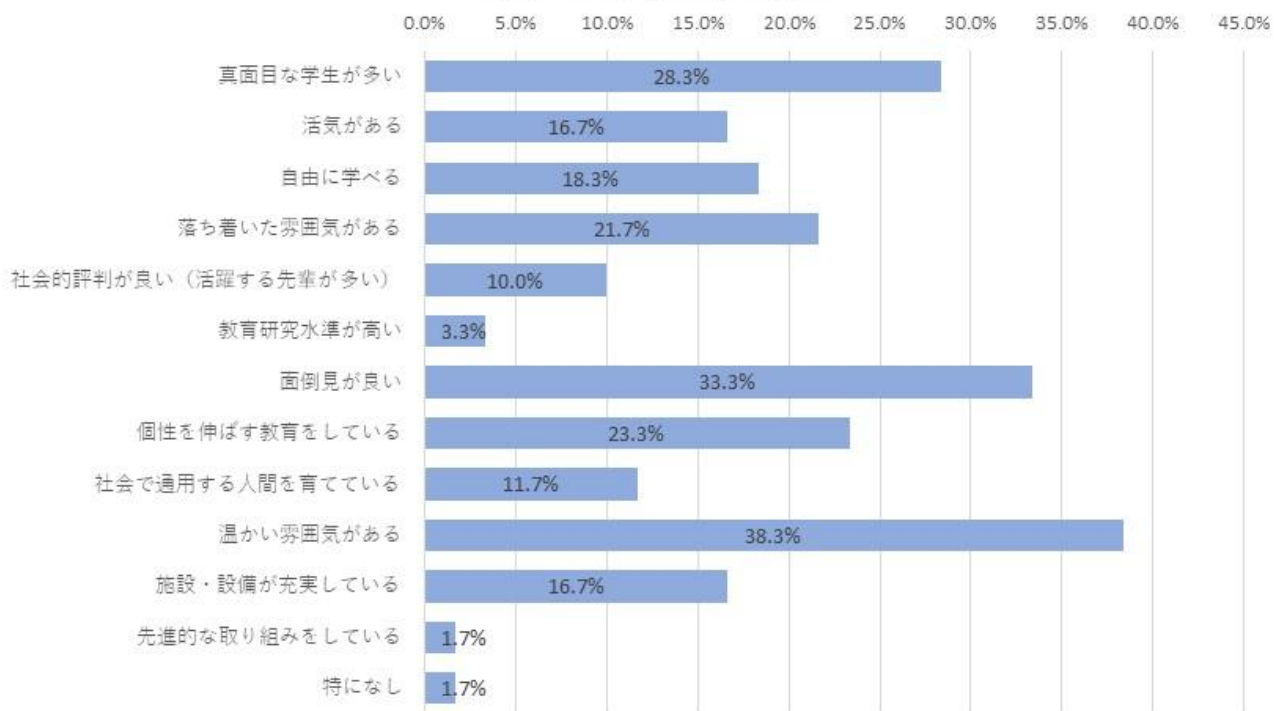


表5 選択率(上位3項目)

1	温かい雰囲気がある	38.3%
2	面倒見が良い	33.3%
3	真面目な学生が多い	28.3%